

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年12月4日 第244号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



沖縄・東村高江
座り込みに3県議参加



会期延長し年金カット法強行
モラル喪失の閣僚らゴリ押し

年金カット法案（国民年金法等改定案）が衆議院でまともな審議もせず、自民・公明・維新の3党が委員会・本会議で強行につぐ強行採決。アベ首相は「将来の年金水準確保のためだ」と居直るが、共産党の高橋千鶴子議員は、それはまやかしてマクロ経済スライドの発動で将来世代も年金削減だと追及。アベ首相は年金の水準低下は認め、挙句には「こんな議論はいくらやっても同じ」と数の力で審議打ち切り、会期を12月14日まで延長し参議院で何があっても成立を狙うのです。

アベ晋三という人は自分の意に沿わない意見を食らうと「いくら議論してもムダ」と国会審議をバカにする傲慢な態度。また、「採決を強行的に邪魔する人たちがいる」と暴言した萩生田官房副長官や、TPPで2度に渡って「強行採決」暴言の山本有二農水相、そして和歌山選出の暴走・差別発言・モラハラ騒ぎの鶴保沖繩担当相など、モラル喪失の閣僚がウヨウヨ。さらに2015年分の政治資金収支報告書によると、現・元の閣僚らが高額の飲み食いです。その額たるや1千万円以上は4人、1千万円未満も百万円以上が7人（鶴保氏もこのクラス）。こんな「政治家」らには、千円、2千円のカットでも生活が深刻な低年金者の事などは知らん顔なのでしょう。数に任せた横暴は来るべき総選挙で終えんさせませしょう。（編集室）



市長に要望書を渡す市議団と前久委員長

今号は沖縄と編集室がリアルタイムで編集しました。

市長と予算で懇談

11月22日市長と2017年度予算編成について市長と懇談を行いました。重点項目は、以下の8点です。

- 1、住宅リフォーム助成制度については耐震改修、福祉目的に、地元中小の建設業や関連産業に対する仕事づくりという観点から、経済対策として取り組まれます。
- 2、和歌山市の国保料については、「払える保険料」という観点に立つて、保険基盤安定負担金は保険料引き下げに充てられたい。一人当たり5千円に加え、法定外繰り入れと合わせ、一人1万円、来年度より引き下げられたい。
- 3、旧同和対策として継続されている事業については、差別意識の解消が目的とされているが、それはどのような状態であると考えているのか。
- 4、子どもの医療費助成制度について

8項目の重点項目を紹介します

- 5、介護保険における要支援1・2の方へのサービスは、議会から国へ上げた意見書をふまえて、新総合事業となっても、市が財政的な責任を持ち、市民負担が増えないようにするとともに現状と同等の内容を保障されたい。併せて、国が費用負担に責任を持ち、今までどおり介護保険事業として取り組むよう強く求められたい。
- 6、地域住民が反対している滝畑地域への安定型産業廃棄物最終処分場の建設については、「地域的にはなじまない」とした市長の立場を堅持されたい。
- 7、投票率を上げるための施策を充実されたい。また、その一環として、移動投票所による投票をモデルケースとして実施されたい。
- 8、新図書館構想について、現時点での具体的な計画内容を明らかにされたい。

党市議会議員
中村あさと



- ① 歳書数と容量スペースの變化
- ② 運営主体はどこか
- ③ 市民への周知と今後のスケジュール



車のすぐ後ろに立っている方が、共産党村会議員の伊佐さん。挨拶しています。



【沖縄発】11月29日に県議会より和歌山県出身沖縄並びに南方諸地域戦没者追悼式に参列しました。翌30日は夜明け前から東村高江のゲート前の座り込みに参加しました。北部訓練場は米軍が強制接収しました。無条件に返還すべきものです。「やんばるの森を守りましょう」の願いをこめて、集会参加の方々と交流もしました。写真上一左から松坂、雑賀、奥村です。



各種のヨコ幕などです